

(乗客291人、乗員16人)

7日、原因解明に向けた調

操縦していた副機長らパイ

路手前の護岸に衝突した。

ープなどで避難した。男性



なのか、さっぱりわからないことだらう。

それがアゼルバイジャンの観光最大の問題点だ。

しよつといつこととで観光に力を入れていたのだ。中東のドバイと同じ戦略だ。

旅行に行きたくなるモチベーションにはお国柄がある。アゼルバイジャンの人が書いた旅行ガイドを翻訳しても日本人の心

アゼルバイジャンは、世界最大の湖・カスピ海の西岸に位置する国だ。石油が採れるため、

ガイドを翻訳しても日本人の心

石油産出国の次代産業

アゼルバイジャンの問題点

私の会社は、昨年末アゼルバイジャン文化観光省から、アゼルバイジャンの旅行ガイドブックの日本語で日本での出版というプロジェクトを受注した。その入札には、日本で著名なガイドブックの出版社も参加したらしいが、よい値段を出し過ぎたせいか、ぶつちぎりで受注した様子だ。

その話を今は札幌に住む母親に言ったところ、「アゼルバイジャンってどこにあるの?」と聞かれた。読者の方も、多くの人はどこにあるのか、どんな国

首都バクーは潤っている。5つ星ホテルの建設ラッシュで、見たこともないような巨大なモニュメントも昨年完成した。今は

の琴線には触れない。日本人の観光客を呼びたいなら日本人に旅行ガイドを書かせるほうがよいと気づいたらしい。

石油のおかげでお金はある。しかし石油は無限ではない。だから今のうちに次代の産業を育成

偶然、昨年11月に参加した国際会議がバクーでの開催だった。その時に一緒に結した日本共

産党副委員長の緒方靖夫先生から、「スパイ・ゾルゲはアゼルバイジャン出身のようですよ」と聞いた。

私は、個人的にゾルゲに興味を持った。なぜ、ロシア人でもないゾルゲがソ連のスパイになったのか。また、偶然、フランスの銀行で働いていたときの同僚の女性の夫が、ゾルゲの本を書いた有名なイギリス人ジャーナリストだった。「ゾルゲ・引き裂かれたスパイ」という本だ。新潮文庫だが絶版なので古本での入手可能だ。一気読みだった。お勧めする。(石井 至)

いしい・いたる 石井兄弟
社社長、東京都在住